

令和 7 年第 2 回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏 名	質問順	氏 名
1	畠山 由美	7	佐藤 浩崇
2	長谷川る美	8	出川 博一
3	浅野 直子	9	畑山 和晴
4	小松 大介	1 0	渡邊 清美
5	荒谷 敏	1 1	菊池 美穂
6	須藤 義	1 2	塩田 智明

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	5月29日（木）
受付時間	14：47

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 5 月 2 9 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 5 番 畠山 由美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 子ども相談窓口のＬＩＮＥ活用について

【質問要旨】－簡明に－

本市は「子どもにやさしいまちづくり」を最重点政策として掲げ、さまざまな取り組みをいち早く推進しております。その一環として、本年４月１日に「こども家庭センター」を設置しました。子どもの健やかな成長をサポートする場所として、子どもとその家族および妊産婦に対して保健師や社会福祉士などの専門職の方が相談対応を行います。そしてさらに、５月１日から新たに「不登校相談窓口」を新設しました。

今や子どもたちを取り巻く社会は複雑で、いじめ、虐待、貧困、ヤングケアラー、自殺など、深刻な悩みを抱えている児童、生徒の数は年々増加しています。

誰かに相談したくても、直接の電話は無理、勇気が出せないなどの理由から、相談をためらう場合もあります。声には出せない声を聞くために相談者の気持ちのハードルを下げる手段として、国や宮城県、仙台市においてはＬＩＮＥを活用しています。

本市の子ども相談窓口でもＬＩＮＥを活用し、まずは気軽に相談できる体制づくりを実施すべきであると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 児童、生徒および保護者からの相談ツールとしてタブレットを活用していますか。
- 2 こども家庭センターに不登校相談窓口を新設した反響および効果について伺います。
- 3 相談窓口の広報はどのように行っていますか。
- 4 宮城県のＬＩＮＥ相談には、仙台市民以外の相談件数が多いそうです。本市と県の連携体制について伺います。
- 5 相談者の声の入り口として、ＬＩＮＥを活用することについて本市の見解を伺います。

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 学校のトイレ清掃について

【質問要旨】－簡明に－

海外から来日された外国の方々は、日本のトイレのきれいさに驚くそうです。今や、商業施設や公共施設などでは、トイレを気持ちよく使ってもらうため、おもてなしの精神で一日に何度も掃除するなど力を入れています。

そのように、トイレがきれいなのはあたりまえの環境で育ってきた児童から、学校のトイレは汚い、くさい、トイレ掃除をしたくないと言っている声を聞きました。本市の学校は開校から30年から50年の施設が多く、トイレも同様に年数が経過しています。

市内の学校のトイレの特別清掃を専門業者に依頼し、異臭を取り除き、子どもたちに気持ちよく使ってもらう。また、掃除に力を入れて、きれいに保つ教育をしていくべきであると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 市内小中学校のトイレの数について伺います。
- 2 直近の学校のトイレ修繕工事状況について伺います。
- 3 児童、生徒、保護者や学校からトイレに関しての声はありますか。
- 4 トイレに関する市の対応について伺います。
- 5 専門業者による配管までの特別清掃を定期的に行い、子どもたちに気持ちよく使用してもらう。また、掃除をしてきれいに保つ教育をしていくべきと考えますが、本市の見解を伺います。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	5月30日（金）
受付時間	9：36

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 5 月 3 0 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 12 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 ひきこもり対策と今後の支援について

【質問要旨】－簡明に－

全国的に、ひきこもりの人数は増加していると推計され、長期化も進んでおり社会的な課題となっております。その様な中、本市においては、「ひきこもりに関する生活状況アンケート」を全世帯対象に実施し、その実態や支援ニーズの把握などを行っております。今後のひきこもり対策や、支援方針などについて、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 アンケート結果の分析と今後の活用について。
- 2 支援の現状と課題について。
- 3 関係機関との連携強化について。
- 4 今後の支援拡充について。
- 5 市民の皆さまへの周知と啓発活動について。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	5月30日（金）
受付時間	11：05

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 5 月 3 0 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 13 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	☐ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 本市の地域課題への取り組みについて

【質問要旨】－簡明に－

令和５年に富谷市立地適正化計画、令和６年に富谷都市計画マスタープランが公表されました。地域の実情を示し、将来像と方向性、そして、課題等、部門別・地域別
に示されており、分かりやすい計画になっています。

コンパクトな本市は、更なる田園都市構造を目指しています。豊かな環境を持続させるためには人材育成と社会環境の潤滑化、各地域のまちづくり、文化や景観の魅力を発信させるコミュニケーション活動の充実だと考えます。

社会情勢は急速に変化し、市民生活は物価高騰による窮屈さや気象変動による健康への不安、高齢化する地域ではコミュニケーション活動も人材不足などにより負担の懸念を感じます。

今回、身近な課題への取り組みを問います。

【質問項目】－列 記－

- 1 マスタープランの東部、西部、南部、北部の地域におけるまちづくりの現状の取り組みについて伺います。
- 2 地域コミュニティの充実のため、若い世代へのアプローチについて伺います。
- 3 高齢化が進む地域においての町内会・地域活動の推進について伺います。
- 4 憩いの場所（公園も含む）における椅子の増設や屋根の設置で、熱中症対策と屋外コミュニティの推進について伺います。

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 自転車利用者・高齢者等への交通支援整備について

【質問要旨】－簡明に－

令和8年4月より、自転車の交通違反に対する青切符による反則金制度が始まります。本市では、ヘルメット購入費の一部助成など取り組みがあります。

そのような中、買い物や通院、通学等で自転車利用も多くなってきており、特に、団地内の道幅の狭い所の走行も目にします。是非、道路標識や標示等で注意喚起を促し、自転車の安全走行と罰則等の注意喚起標識などの整備を求めます。

また、ユートミヤ周辺の自転車往来も多くなると予想されますが、対策について伺います。

以前より、特に高齢者の交通支援の選択肢にタクシー利用を求めています。デマンドタクシーの利用も含め支援策を伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 令和8年4月より自転車走行に対する罰則が厳しくなります。自転車利用者の安全走行に対する道路整備、標識等の設置について見解を伺います。
- 2 令和8年開館予定のユートミヤ周辺の自転車利用者も増加すると考えます。対策や整備についての見解を伺います。
- 3 高齢者交通支援の利便性を求め、選択肢にタクシー利用券とデマンドタクシー利用導入への見解を伺います。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	5月30日（金）
受付時間	12：00

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 5 月 3 0 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 1 番 小松 大介

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 発酵のまちづくりの展望は

【質問要旨】－簡明に－

10月11、12日に開催される全国発酵サミットを目玉とする発酵のまちづくりですが、富谷市の認知度向上や地域産業の発掘など、本市の発展においての起爆剤となることを大変期待しております。その一方で、前年開催地の香取市の開催規模を考慮しても、予算確保や人員確保、集客方法、交通誘導、会場選定など、相当な計画のもとに開催されることと思います。2年前に開催したテッラ・マードレで出た課題なども踏まえながら検討する必要があります。そして、大切なのは、開催後にどう展開して市の産業振興に活かすかという点です。

5月25日に開催されたプレイベントでの小泉先生の講演の中にもありましたが、2013年に同サミットを開催した千葉県神崎町は、開催後に発酵をコンセプトにした道の駅をオープンし、今年で10周年、年間来場者数は77万人にもものぼる人気観光スポットになっています。発酵の里こうざき酒蔵まつりは、人口約5600人の神崎町において、例年6万人を超える来場者が訪れる大規模なイベントになっています。

こういった大成功の事例もあることから、今後の展開次第では本市の地域経済発展に大いに寄与するポテンシャルを秘めたイベントです。そこで以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 来場者目標および売り上げ目標は。
- 2 テッラ・マードレを終えて、発酵サミットに活かせる点は。
- 3 開催後に想定している今後の展開は。
- 4 中長期的に見込まれる経済効果は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 森林環境譲与税の使い道は

【質問要旨】－簡明に－

令和6年度から個人住民税均等割と併せて一人当たり年間1,000円の森林環境税が課税されることになりました。森林の保全や整備、国産木材の利活用などを目的に、自治体に分配されている森林環境譲与税ですが、活用されず積み立てる自治体が多くみられるという記事を目にしました。本市においても、私も含め、何度か議会の質問で用途を尋ねる場面を目にしましたが、基金への積み立てという回答が多いように思いました。しかし、その基金をいくら貯めて、最終的には何に活用していくかといった明確な答えは出ていないように感じます。

森林の有する公益的機能は、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や水源の涵養等、国民に広く恩恵を与えるものであり、適切な森林の整備等を進めていくことは、我が国の国土や国民の生命を守ることにつながる一方で、所有者や境界が分からない森林の増加、担い手の不足等が大きな課題となっています。これは林野庁のホームページに記載の文を引用しましたが、本市においても市全体の面積の約1/4を占める森林の維持・管理は、大変重要な課題です。

田園都市という観点からも、本市の豊かな森林の積極的な活用方法が問われるタイミングです。以上をふまえ質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 森林環境譲与税の使用対象は。
- 2 森林環境譲与税導入後の、各年度における活用実績は。
- 3 基金積み立ての総額は。
- 4 大亀山森林公園などの森林整備に使う考えは。
- 5 本市の森林を維持するための、新たな活用法の考えは。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	5月30日（金）
受付時間	14：51

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 5月30日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 6 番 荒谷 敏

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	荒谷 敏	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 市内幹線道路環境について

【質問要旨】－簡明に－

道路には、地域の生活を支え、市民生活の安全・安心の確保、地域間交流の円滑化さらに充実した暮らしと生活環境をつなぐという大きな役割があります。

最近、市民の方々から道路に関する意見が多く寄せられます。道路は子どもにも高齢者にも障がいのある方にもすべての方々に安全に利用できるものでなければなりません。本市の道路は必ずしもそのようにはなっていないのではないのでしょうか。

道路の亀裂、凸凹、ひび割れや破損、信号機などの安全設備、通学路や歩道の安全確保対策、横断歩道などの路面交通安全表示が見えにくくなっている場所も多くあります。特に、上桜木や成田、明石台地区には、大型物流倉庫が多く立地され、それに伴う大型車両の通行による路面への影響など今後ますます懸念される状況になると思います。

以上のことから、市内幹線道路の維持管理・修繕計画について、今後どのように考えているのかなど、以下の点について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 道路施設維持管理修繕等の今後の計画は。
- 2 舗装更新の優先順位を定める必要があると思いますがお考えは。
- 3 大型車両の交通量増加が見込まれますが、路面摩耗、亀裂、ひび割れなどへの具体的な対応策は。
- 4 大清水地内（大清水9－2号）防護柵が同じ個所で何度も破損する原因は。
- 5 主要幹線道路の防犯カメラの設置状況と効果は。（特に、大清水一丁目第1公園交差点）

議 員 名	荒谷 敏	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 2 質問件名 中学校部活動地域展開の地域クラブ設立団体への支援について

【質問要旨】－簡明に－

部活動地域展開に関しては、前回の定例会で一般質問させていただき、令和8年度の中総体終了後から地域展開が可能となった種目から、順次休日の部活動を終了し、地域クラブにゆだねていくという方針のもとに、富谷市の支援策として、「地域スポーツクラブ・文化芸術クラブ認定制度」並びに「クラブ設立支援補助金」を創設し、クラブ設立に向けて推進していくこととされています。

この「地域スポーツクラブ・文化芸術クラブ認定制度」や「補助制度」等を活用し地域クラブを設立した団体から、「クラブを設立はしたが練習会場が取れない」など、クラブ活動において支障が生じている状況だと伺いました。

今年度は、移行期間であり、中学校部活動はこれまで同様に活動しており、中体連や新人戦に向けて学校施設を利用することは難しいかと思いますが、せっかく新制度へ向けて設立した地域クラブが活動しやすい環境を整え、今後も持続可能なものにしていくことが重要だと考えます。まずは、休日における地域の環境の整備を着実に推進し、学校の枠を越えた取り組みを行うことが、行政の役割ではないでしょうか。以上のことから、これからの取り組みについて伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 中学校施設開放の調整はどのようになっていますか。
- 2 設立した地域クラブの活動状況や課題等を把握していますか。
- 3 学校側では、設立された地域クラブの活動方針や活動状況、生徒の情報等を共有されていますか。
- 4 教育委員会から学校側へ地域クラブに対して、どのような支援要請を行いましたか。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	5月30日（金）
受付時間	15：53

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 5 月 3 0 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 4 番 須藤 義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	須藤 義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 運動会での熱中症対策について

【質問要旨】－簡明に－

近年、気候変動の影響もあり熱中症がより身近な問題となっています。学校での熱中症事故も毎年5,000件程度発生していることから熱中症を防ぐ対策が必要とされています。

本市では小学校や中学校の運動会が5月に実施されるとはいえ、暑い最中の開催となることもありました。競技の出番を待つ間もずっと炎天下に晒されることにより、子どもたちの熱中症リスクが高まります。

しかし、競技の出番を待つ間の子どもたちはテントの下で応援することによって直射日光から守られ、熱中症のリスクが低減されます。熱中症対策として小学校・中学校に日差しを遮るテントを整備していくべきではないでしょうか。

また、運動会の応援にあたっては駐車場の確保が困難なため、家族は徒歩での来校を求められます。しかし、地域によっては自宅から学校までおよそ3kmほどある場合もあり、大量の荷物を持ち、年少の兄弟児を連れて行かねばならなかったり、さらには高齢の祖父母も参加したりする場合等、炎天下の中を往復約1時間程度歩かせると熱中症のリスクが高まる危険性があります。

以上のことから、学校で行われる運動会での熱中症対策について、以下のとおり質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 小学校や中学校の運動会における、テントを用いた熱中症対策の効果について、見解は。
- 2 各学校に児童生徒用及び保護者用テントを整備すべきと考えますが、見解は。
- 3 おおむね3km程度の距離から徒歩で運動会に向かわねばならない家庭が多い地域においては、シャトルバスを用意すべきと考えますが、見解は。

議 員 名	須藤 義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 無痛分娩の費用助成について

【質問要旨】 一簡明に一

無痛分娩とは、麻酔を用いて出産に伴う陣痛を最小限に抑えることを目的とした出産方法です。出産時の痛みに対して強い不安をおぼえる方は多く、出産が身体だけでなく精神的な負担にもなり得るため、無痛分娩はそれを緩和する有効な選択肢になり得ます。諸外国に目を向けますと、フランスでは約８割、韓国で約６割、アメリカは約７割、フィンランドにいたっては約９割の妊婦が無痛分娩を選択していると言われており、既に無痛分娩が標準的な出産方法となっている国が多々あります。

このような中、近年は日本でも徐々に無痛分娩を希望する女性が増えています。平成３０年には、厚生労働省から「無痛分娩の安全な提供体制の構築に関する提言」が出され、無痛分娩の情報を入手しやすい環境を整備することが求められています。民間企業の調査によれば、全国平均で約２割の人が希望しています。また、実際に無痛分娩で生まれた子どもの数も、２０１８年の５．２％から２０２３年は１１．６％に増加するなど、無痛分娩の割合が増加傾向にあることが分かります。

こうした中、東京都が「無痛分娩」の費用助成制度を２０２５年１０月から始めると発表しました。助成額は最大で１０万円で、無痛分娩への費用助成は都道府県で全国初です。

強調しておきたいのは、女性が自分に合った出産方法を選択できる環境を整え、社会全体でその選択肢を尊重する風潮を育むことが重要だということです。「無痛分娩を推奨」しているわけではなく、「希望する場合は、その女性たちが安心して無痛分娩を選択し出産できるまちづくりをしたい」という思いがメインテーマであることを強調して、以下のとおり質問します。

【質問項目】 一列 記一

- １ ２０２５年１０月に東京都で無痛分娩の費用助成が開始されることを受け、無痛分娩の費用助成について、本市の見解は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	6月2日（月）
受付時間	8：42

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 6 月 2 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 2 番 佐藤 浩崇

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	佐藤 浩崇
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 子どもの習い事費用助成について

【質問要旨】－簡明に－

現在、家庭の経済状況により、子どもたちが希望する習い事を継続できなかつたり、そもそも始められなかつたりする実情が見受けられます。特に学習塾やスポーツ教室、音楽・美術などの文化活動といった習い事は、子どもたちの能力や関心を伸ばし、将来の進路や職業選択の可能性を広げる大切な機会です。しかし、家計に余裕のない世帯ほど、その恩恵を受けにくいという現状があります。

こうした教育格差を是正し、すべての子どもたちに公平な成長機会を保障することを目的とし、「習い事費用助成事業」の創設を提案するものです。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市において、経済的理由により習い事を断念せざるを得ない子どもの実態を把握しているか伺います。
- 2 習い事が子どもの成長や非認知能力の育成に果たす役割について、市の見解を伺います。
- 3 習い事費用助成事業は、大阪市・吹田市・福岡市・千葉市・福井県鯖江市などで、それぞれの条件のもと導入されています。これらの導入状況とその成果や課題について、どのように分析しているか伺います。
- 4 本市として、所得制限を設けた形での習い事費用助成事業の導入を検討してはとありますが、市の見解を伺います。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	6月2日(月)
受付時間	9:33

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 6 月 2 日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	出川 博一
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 新商品等開発の今後の動向は

【質問要旨】－簡明に－

5月21日、観光施設「富谷宿観光交流ステーション」（とみやど）の来場者が70万人を超えたと報道されました。

「富谷市新商品等開発事業補助金交付要綱」によると、令和4年度10,000千円、5年度9,000千円、6年度8,000千円と当初予算ベースで、3年間で27百万円の補助金が交付されています。

3年間で開発された商品等について伺います。

また、本年10月に予定される「第15回全国発酵食品サミット in とみや」の開催事業費として、令和7年度当初予算に委託料15百万円の一般財源が計上されています。4月23日の記者会見では、発酵茶の商品化に触れています。

今後の商品開発とそれに投じる財源等について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 地域の食材等を活用し商品開発されたものは何か。
- 2 新しい素材・技術等を利用して開発された商品は。
- 3 既存の技術・技法等を活かし、従来品より優れた商品は完成したのか。
- 4 令和7年度以降の補助金交付要綱における商品販売計画について。
- 5 発酵茶の商品化の進捗状況は。

議 員 名	出川 博一
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 病院誘致にかかる土地の取得

【質問要旨】－簡明に－

令和5年11月30日、市長より総合病院誘致にかかる土地の取得について提案があり、同日議案は可決されました。

総合病院候補地として45,411.61㎡・取得価額14億49万4028円の議案を議決し、現在に至っています。

このことにより、市議会として議決責任・説明責任が生じることになりました。
その後の動向について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 令和7年2月の全員協議会資料によると、一部契約締結日令和6年2月1日、換地処分日令和6年8月30日と記載されていますが、明石台東土地区画整理組合はいつごろ解散したのか。
- 2 令和7年度当初予算に、土地開発基金繰入金278,925千円で病院用地購入を計上しています。未契約分の土地約9,044㎡は、現在どのようなになっているのか。
- 3 今後、議員全員協議会等において、定期的な報告をお願いしたいと思料するが、見解をお尋ねいたします。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	6月2日(月)
受付時間	9:50

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 6 月 2 日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 11 番 畑山 和晴

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畑山 和晴	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 特産品について

【質問要旨】一簡明に一

本市では、新たな特産品を創出するため、様々な取り組みを行ってきております。例えば、富谷茶やはちみつなど、成果を上げている物もあります。また、スイーツのまちとしての取り組みも行い、毎年のスウィーツフェアなど好評を得ています。

しかしながら、現在までの取り組みを含め、今後の展開がまだまだ見えない部分があります。また、特産品となる為には、作り手が稼げることが重要になってくると思います。観光交流ステーションの在り方や、図書館等複合施設に設置される「スイーツステーション」の方向性が今後の特産品創出の大きな鍵となると考え、以下質問します。

【質問項目】一列 記一

- 1 以前、一般質問した「ブルーベリーでワインを」のその後は。
- 2 富谷茶は順調に収穫量が増えてきていますが、あとどれくらいの時間で特産品としての販売につながられますか。
- 3 セリを「とみせり」として特産品にしていきたいとのことですが、生産者等踏まえ今後の展開は。
- 4 ブルーベリー栽培の後継者の問題があります。ブルーベリー生産の今後についての方策は。
- 5 ベリーのまちとしてのブランディングを新たに確立するために、様々なベリー（例えばラズベリー、ブラックベリー、クランベリー、カシスなど）の栽培を試しても良いのでは。
- 6 国の交付金で行われた「とみやスイーツ博覧会」開催は大好評でした。交流人口の増加とスイーツのまちとしてのブランディングの確立を確かなものにするために規模は小さくなくても開催すべきと思いますが、見解は。
- 7 観光交流ステーションでの特産品に係る販売を含めた戦略等、今後の取り組みは重要になってくると思いますが、見解は。
- 8 発酵サミットが行われますが、サミット後の計画はどのように考えていますか。
- 9 「スイーツステーション」の具体的な方向性は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 0
受付月日	6 月 2 日 (月)
受付時間	1 0 : 0 9

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 6 月 2 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 8 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 2 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 小中学校のいじめ、不登校問題について

【質問要旨】－簡明に－

2023年度宮城県での小中学校での不登校児童生徒数は、7840人となり、1000人当たりの不登校児童生徒数は46.7人と全国最多となっています。

同年の調査では、宮城県は不登校だけでなく、いじめの認知件数も多く、いじめによる重大事態も増加しています。

いじめ、不登校には、色々な要因がありますが、全てにおいて早期の支援、誰一人取り残さない取り組みの強化が必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 市内小中学校のいじめの状態と対策は。
- 2 いじめの把握の仕方は。
- 3 市内小中学校の不登校の状況は。
- 4 不登校に対する支援の状況は。
- 5 市内小中学校でのいじめ、不登校の要因をどのように捉えているのか。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 1
受付月日	6 月 2 日 (月)
受付時間	1 0 : 3 8

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 6 月 2 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 7 番 菊池 美穂

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第2回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 十ノ宮線の拡幅について

【質問要旨】－簡明に－

十ノ宮線は、地域住民の通勤・通学、買い物など日常生活に深く関わる交通動線です。近年は市内外の企業立地や宅地開発に伴い、抜け道として交通量が増加しており、地域の方々からご相談を受けております。

現状の道路幅員は非常に狭く、車両のすれ違いが困難な箇所が複数存在しています。緊急車両の走行も心配され、火災や救急といった緊急時の対応に支障をきたす可能性があり、市民の命と安全を守るという観点から看過できない問題と捉えます。

また、歩行者の通行環境も脆弱であり、車両との接触リスクが高まっています。

地域住民の間でも、日常的に不安の声が寄せられており、早急な対応が望まれていることから、十ノ宮線の拡幅について、早期の調査・計画着手が必要であると考えます。

以上を踏まえ、以下の点について市の見解を伺います。

【質問項目】－列 記－

1 十ノ宮線の現状について。

- ① 幅員状況について。
- ② 歩行者・通行車両の安全性に対する課題感について。
- ③ 緊急車両の通行に対する認識について。

2 十ノ宮線の拡幅について。

- ① 拡幅に向けた検討状況、計画の有無について。
- ② 用地取得、予算、住民合意等についてどのような対応方針を持っていますか。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	☐ 一括 一問一答

No. 2 質問件名 多子世帯の保育料減免の拡充を

【質問要旨】－簡明に－

令和5年第1回定例会一般質問において、多子世帯の保育料の所得制限なしの減免の年齢枠の拡大を取り上げました。その後の検討状況をお伺いします。

私は、本年1月に、過去の質問を見てくださった市内に住む子育て中のママさんからお手紙をいただき、そこには多子軽減の拡充を求める切実な思いが綴られていました。家庭においての子育てにかかる経済負担は変わらないこと、誰もが望んだタイミングで兄弟姉妹の年齢差関係なく出産できるとは限らないことから、年齢枠拡大の必要性を、改めて、強く共感しました。

子育て世帯が安心して暮らせる環境が整うことは、持続可能な社会づくりにつながり、地域社会全体の未来を支える施策として大きな意義を持つと考えます。

全国的にも、また、県内においても、第二子以降の保育料無償化を実施している自治体は増えています。本市においても、年齢差ゆえの家計負担を心配することなく下の子を産み育てることができるよう、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 多子世帯の実態について、支援拡充の必要性の見解、また、検討状況は。
- 2 実施に係る予算の推計は。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 2
受付月日	6 月 2 日 (月)
受付時間	1 1 : 4 9

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 6 月 2 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 1 0 番 塩田 智明

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 2 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	塩田 智明
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 明石台十丁目通学路の安全対策を

【質問要旨】 一簡明に一

明石台東地区をはじめとする本市の安全対策について質問をいたします。

道路交通環境の安全確保については、定期的な点検と各地域の環境変化に応じて見直しすることが重要です。

本市においては、明石台東土地区画整理事業により、周辺市道の交通環境が大きく変化しました。特に、明石台十丁目と明石台七丁目の間を南北に通る市道明石台16-2号線は、交通量が多く、通勤を急ぐ車が多いため、事故を心配する声や信号機設置などの対策を求める声が多く寄せられています。

先月の5月27日、交通安全協会明石台支部の協力を得て、明石台十丁目1-1付近の信号機が設置されていない市道交差点で交通量調査を実施しました。その結果、当該交差点では、通勤通学時間帯の1時間に約380台の車が通過することが分かりました。この交通量は、「警察庁の信号機設置の指針」の信号機設置の必要条件を満たす交通量です。

過去には、明石台六丁目17付近の市道に横断歩道設置を長年要望し続けても要望が実現することはありませんでしたが、ひき逃げ事故が発生すると直ぐに横断歩道が設置されたという事例があります。そのことを教訓に、痛ましい事故が起こる前に、明石台十丁目児童の通学路となっている市道の横断歩道に一日も早い信号機設置と信号機が設置されるまでに富谷市ができる安全対策を早急に実施することが求められます。

【質問項目】 一列 記一

- 1 当該市道には、信号機が設置されていない横断歩道が2箇所ありますが、住民からの要望について伺います。
- 2 一日も早い信号機設置が求められますが、本市の対応状況を伺います。
- 3 信号機設置は、時間を要するものと推測します。それまでに富谷市ができる安全対策を早急に実施することが求められますが、見解を伺います。

答弁を求める者 市長